



Super head+R Comboキット 138cc

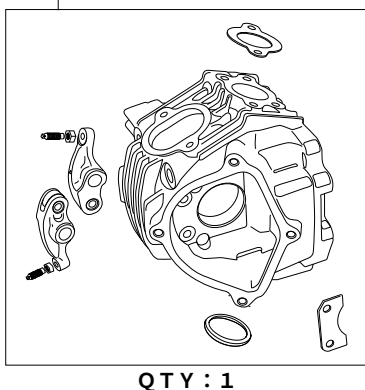
商品番号 : 01-05-0221
適応車種およびフレーム番号
KLX110: LX110A-000001~
LX110A-A08133~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
 - ・この商品は、KLX110用スーパーヘッド+R/ボアアップ(59×50.6 138.3cc)にVM26キャブレターをセットしたキットです。
- ご使用に付きましては、各キット内容をお確かめ、各キットの明記事項を遵守頂きますようお願い致します。万一お気づきの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

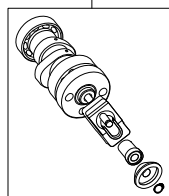
～キット内容～

01-03-0115
スーパーヘッド+Rキット



QTY: 1

01-08-0120
カムシャフトS-20D



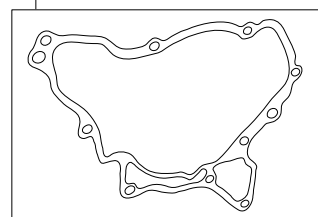
QTY: 1

NGK-CR8HSA
スパークプラグ



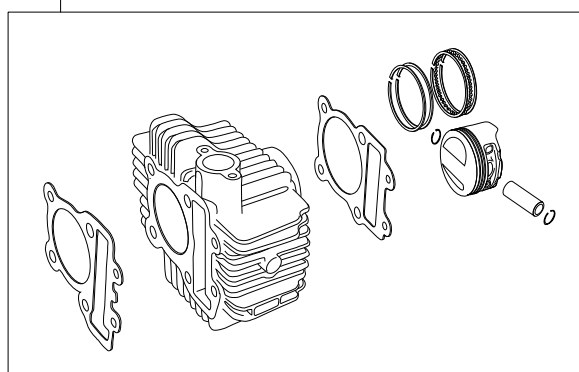
QTY: 1

00-01-0058
ジェネレーターカバーガスケット



QTY: 1

01-04-0105
シリンダーキット138ccシリンダー



QTY: 1

03-05-3293
VM26キャブレターキット



QTY: 1

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎このキットはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用出来ません。
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川 〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857



Super head+R キット 取扱説明書

商品番号：01-03-0115

シリンダーヘッド適応車種およびフレーム番号

KSR110 : KL110A-000001~

KLX110 : LX110A-000001~

: LX110A-A08133~

KLX110L : LX110D-A72046~

- ・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願いいたします。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

～特 徴～

- KSR110 / KLX110 専用のスーパーヘッドです。インテークバルブ／エキゾーストバルブ共、傘径を大型化、バルブ挟み角及びポート形状全てを専用設計し、バルブロッカーアームには、スリッパ部にローラーベアリングを採用しベアリングにより増した重量をロッカーアーム本体をアルミ鍛造製とし重量増量を克服、その結果相乗効果により、高回転域での出力アップをはたしました。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。
- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両で、このキット専用のボアアップ車専用用品です。他の車両又はこのキット専用でないボアアップ等には取り付け出来ませんのでご注意ください。
- ◎このキットの取り付けにはエンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要になります。上記適合車の純正サービスマニュアルを準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎シリンダーヘッドにシリアルNo.を刻印しています。部品注文時にシリアルNo.が必要になる場合があります。
- ◎ボルト、ナットの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎液体パッキン等は使用しないで下さい。オイル通路を塞ぐ可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
- ◎燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。また、燃料タンクのガソリンにも注意して下さい。レギュラーガソリンが残っている場合はハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。
- ◎スパークプラグは焼け具合により熱価を設定して下さい。
- ◎点火系は当社製もしくはノーマルのみ適合とします。他社製品との組み合わせのデータはありません。また、トラブルの原因にもなりますので絶対行わないで下さい。
- ◎必要に応じてオイルクーラーを装着して下さい。
- ◎エンジンオイルはAPI SF級以上で、SAE 10W-40 / 15W-50程度の物をご使用下さい。
- ◎スプロケットは出力、仕様に応じた物に変更して下さい。
- ◎シリンダーヘッドキットとして購入された場合は、このキットは単独で使用出来ません。「当社専用エンジンパーツ」を購入していない場合は、別紙「ボアアップキット参照表」を参照し、専用パーツをご購入下さい。
- ◎このキットは当社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは当社推奨エンジンパーツに交換して下さい。
- ◎このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)

急発進・急加速

空ぶかし、急加速、急激なエンジンブレーキはエンジンに高負荷がかかります。最悪の場合はクランクシャフトが破損し、エンジンを壊してしまう恐れがありますのでご注意ください。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。あらかじめご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



注意

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクロード競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。（部品の摩耗や損傷等で、エンジントラブルの原因となります。）



警告

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識の無い方は、作業を行わないで下さい。(技術、知識不足による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ、安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。(火災の原因となる恐れがあります。)
- ・規定トルクは必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。(ボルト及びナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・指示部品以外の部品の使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け、損傷部品の交換を行って下さい。(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・走行前は必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みがあれば規定トルクで増し締めを行って下さい。(部品脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ずハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②スプロケットの変更

◇このキットを取り付けると出力がアップします。ノーマルのスプロケットのままではローギアすぎて各部の磨耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。スプロケットのハイギア化を行って下さい。

このキット単体では使用することは出来ません。

専用のボアアップキットを別紙を参考にご購入下さい。(フルキット購入時除く)

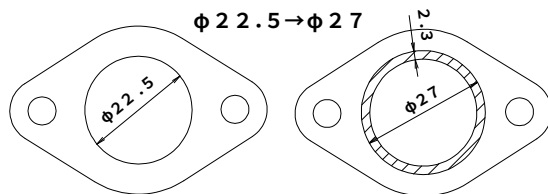
●その他

オイルクーラー

◇このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量が増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、油温を適切に保ち、高温時に発生する油膜切れ等を防止するオイルクーラーキットの装着をお薦めします。

キャブレターマニホールド

◇S - S t a g e対応のマニホールドを使用される場合、インレットパイプ側のポート径がφ22.5になっております。シリンダーヘッドとマニホールド径が異なる為、段差が出来ます。マニホールド側のポート径拡大を行なうとよりスムーズな出力特性を得ることが出来ます。



●使用回転数

◇使用限界回転数は使用されるカムシャフト等で異なります。P.A3のカムシャフト比較グラフを参考にして、エンジン回転計を取り付け、必ず最大出力回転数以下でご使用下さい。

◇特に、空ぶかし時や1速ギア、2速ギアでの急加速時は使用限界回転数に入りやすいのでご注意ください。使用限界回転数以上でご使用されますと、エンジン回転が不円滑になり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

●オプションバルブスプリングリテーナー

◇このスーパーヘッドは、チタンバルブスプリングリテーナーのオプション品を用意しております。スチールリテーナーに比べ約30%の軽量を実現しております。表面にはHV1000以上の表面硬度をもつ特殊コーティングを採用しております。耐衝撃性、耐摩耗性を向上させています。

品番01-12-084 (2個) ¥7,140



●シリンダーヘッドには、管理NoとしてヘッドNo (シリアル) を打刻しております。

リペアパーツ発注時、このヘッドNoが必要となる場合があります。

リペア品番がわからない等で、リペアパーツが発注出来ない時は、下記の例を参考に発注して下さい。

☆シリンダーヘッド左側面に打刻してあるNoをひかえる。

ヘッドNo-KL1-00001

発注例→スーパーヘッドキット、リペア

ヘッドNo-KL1-00001→インテークバルブ
数量1本



ヘッドNo打刻位置
KL1-00***

●シリンダーヘッド単品で購入された方は、排気量等、組み合わせを選んで組み付けて頂けるセットを用意しております。別紙「ボア&ストロークアップキット参照表」を参考にキット内容をご検討下さい。

不明な点やキットの細かい内容はお問い合わせ頂いた販売店、又は、当社までお問い合わせ下さい。

●当社推奨エンジンパーツ

※本キットは当社推奨エンジンパーツのみ対応しております。対応していないパーツは推奨パーツに交換して下さい。

推奨パーツ			
クラッチ	強化クラッチスプリングキット	02-01-0296	
点火系	ノーマルC.D.I		
キャブレター	ケーヒンPE28キャブレターキット	KSR110	03-05-3272
		KLX110	03-05-3292
	ミクニVM26キャブレターキット	KSR110	03-05-3273
		KLX110	03-05-3293

●カムシャフトについて

○シリンダーヘッドキット単品にてご購入された場合は、別途専用カムシャフトが必要です。カムシャフトは用途や排気量によって数種類のプロファイルを用意しております。又、ボアアップキットにて購入され同梱されているカムシャフト以外に、オプション品として検討して頂けます。表及びグラフを参照してご検討下さい。

◎オプションカムシャフト

○本キットに使用出来るカムシャフトを数種類ご用意しております。

各排気量、使用用途に合ったカムシャフトを下表を参考に選択し、ご使用をお楽しみ下さい。

名称	KLX110/KSR110 オートデコンプ付カムシャフト
S-15D	01-08-0119
S-20D	01-08-0120
S-25D	01-08-0121
S-35D	01-08-0122

名称	KLX110/KSR110 オートデコンプ無カムシャフト
S-15	01-08-0015K
S-20	01-08-0020K
S-25	01-08-0025K
S-35	01-05-0030K

名称	KLX110L オートデコンプ付カムシャフト
S-15D	01-08-0132
S-20D	01-08-0133
S-25D	01-08-0134
S-35D	01-08-0135

○各ボアアップキットにて購入された場合、各キットにカムシャフトが付属されています。付属されているカムシャフト以外はオプション品としてご検討して頂けます。

車種	ボアアップキット付属カムシャフト	品番
KLX110	125cc/138cc	S-15D 01-08-0119
KLX110	178cc	S-20D 01-08-0120
KSR110	125cc/138cc/178cc	S-20D 01-08-0120
KLX110L	125cc/138cc/178cc	S-20D 01-08-0133

○カムシャフトの名称について

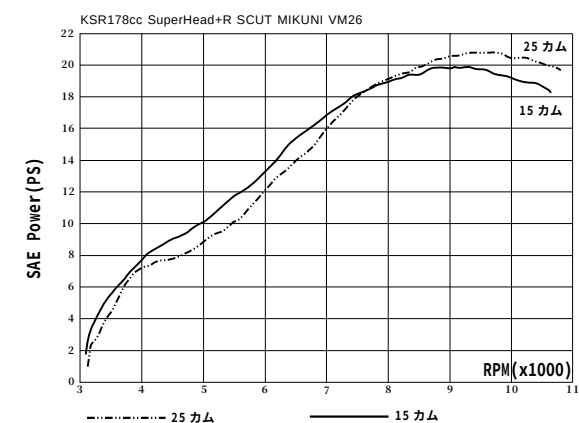
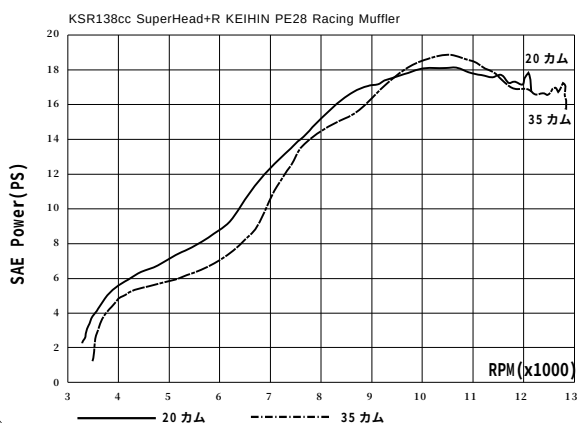
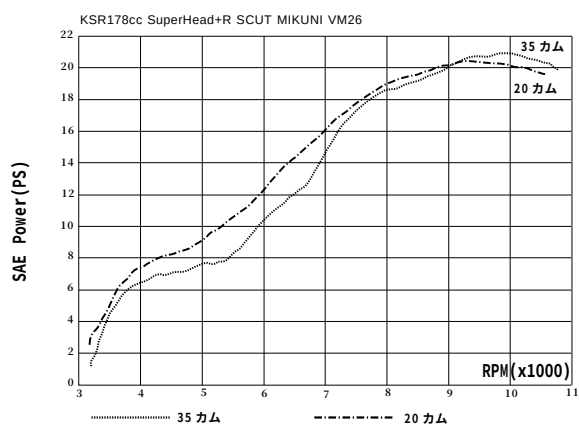
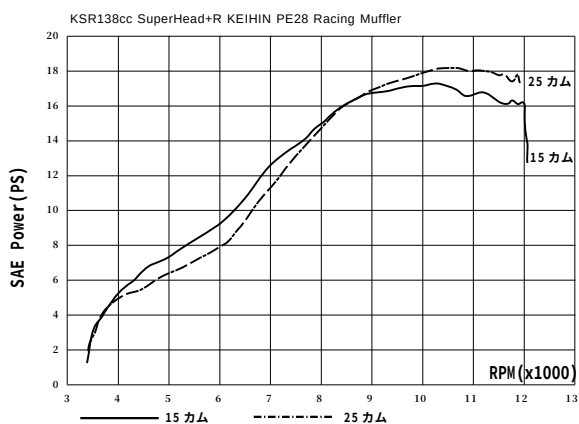
○/○の数字が大きいカムシャフトほど作用角が広く、高回転域で高い出力を発揮し、低中速回転域で出力が抑えられます。

逆に数字が小さいカムシャフトほど作用角が狭く、高回転域での出力が抑えられ、低中速回転域で高い出力を発揮するように、出力特性が移行します。当社では排気量別に適正なカムシャフトを付属させていますが、オプションカムシャフトを購入される際は、カムシャフトデータ表を参考にし、使用目的に見合ったカムシャフトを選択して下さい。

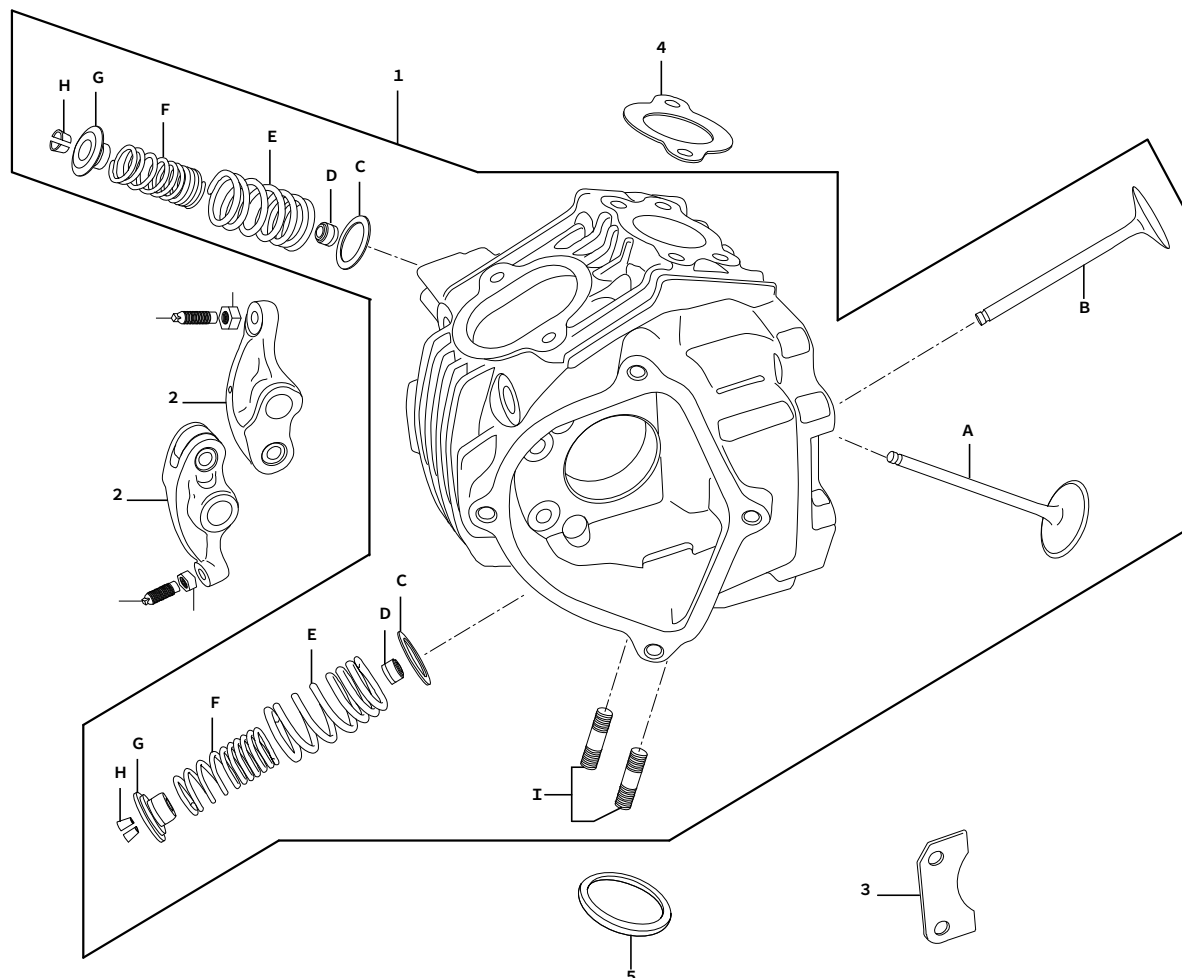
また、エンジン出力は、使用するマフラー、インレットパイプ長、キャブレター径、圧縮比、点火装置、点火時期、オクタン価などや、気温、気圧といった自然現象により、大きく変化しますのでご注意ください。

☆カムシャフト比較データ表

注) ダイノジェットによる測定データですので、実走とは異なります。参考データとして検討下さい。エンジン出力は気温に大きく左右されます。



～商品内容～



※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

番号	部 品 名	数量	リペア品番	入数
1	シリンダーヘッドCOMP.	1	06120-KL1-T00	1
2	ロッカーアームCOMP.	2	14431-SPH-T01	1
3	カムストッパープレート	1	12211-KL1-T00	1
4	マニホールドガスケット	1	00-03-0007	2
5	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0035	2
	アルミスベシャル (5 g)	1	00-01-0001	1

記号	部品名	数量	リペア品番	入数
A	インテークバルブ	1	14711-KL1-T01-F	1
B	エキゾーストバルブ	1	14721-KL1-T01-F	1
C	バルブスプリングアウターシート	2	00-01-0002	2
D	バルブステムシール	2	00-01-0015	2
E	バルブスプリングアウター	2	01-12-0106 (SET)	2
F	バルブスプリングインナー	2		2
G	バルブスプリングリテーナー	2	00-01-0078	2
H	バルブコッター	4	00-01-0018	4
I	スタットボルト	2	00-01-0136	2

補修用オーバーサイズバルブガイド	入数
00-01-0006 バルブガイドO/S	1

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>

～シリンダーヘッド取り付け要領～

- オリジナルのシリンダーヘッドのロッカーアームシャフトとロッカーアームのアジャストボルト及びアジャストナットを取り外します。



- キット内のロッカーアームに、取り外したアジャストボルトにエンジンオイルを塗布し、取り付けます。



- スーパーヘッドにロッカーアームを取り付けます。スーパーヘッドのエキゾースト側のタペットホールから、インテーク側ロッカーアームを入れ、ロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、取り付けます。エキゾースト側のロッカーアームも同様に取り付けます。



- 専用のカムシャフトを取り付けます。カムシャフトのベアリング部に、エンジンオイルを塗布します。



- インテーク側のロッカーアームシャフトを一旦引き抜きインテーク側に取り付けたロッカーアームをタペットホール側にずらして置き、専用のカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付け、再度インテーク側のロッカーアームとロッカーアームシャフトを取り付けます。この時、カムシャフトの山をIN、EX共、燃焼室側にセットします。

- (∴カムシャフトのベアリング部とロッカーアームのベアリング部が干渉する為、ロッカーアームの位置を少しずらし、カムシャフトを取り付ける必要があります。)



- オリジナルのシリンダーヘッドからカムストッパーを取り付けているパンスクリュー2本を取り外します。

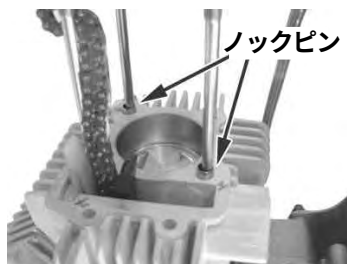


- スーパーヘッドにキット内のカムストッパープレートを、オリジナルのシリンダーヘッドから取り外したパンスクリュー2本を用いて取り付けます。この時、カムストッパーの両端とロッカーアームシャフトの切り欠き部を合わせて取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8 \text{ N} \cdot \text{m}$ (0.8 kg f · m)

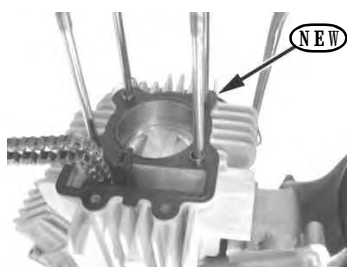


- シリンダーにノックピンをノックピン穴にセットします。



- シリンダー上面をよく脱脂します。

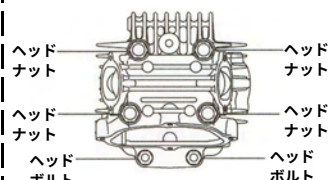
- シリンダーに、キット内のシリンダーヘッドガasketを取り付けます。



- ピストンを上死点に合わせて、シリンダーヘッドを取り付けます。



- シリンダーヘッドスタットネジ部とヘッドボルトネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、ヘッドナット、ヘッドボルトを取り付け仮締めします。



- ヘッドナット4個、ヘッドボルト2本を対角線状に図の順番に数回に分けて規定トルクまで締め付けます。

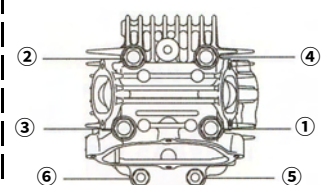
△注意：必ず規定トルクを守る事。

ヘッドボルト
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$

(1.2 kg f · m)

ヘッドナット
 $T = 22 \text{ N} \cdot \text{m}$

(2.2 kg f · m)

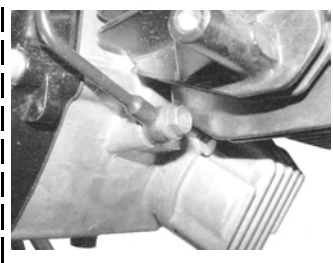


- オイルパイプを取り外す前と同様に取り付け、バンジョーボルトを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 15 \text{ N} \cdot \text{m}$

(1.5 kg f · m)



- オイルパイプをクランプしているボルトを取り付け締め付けます。

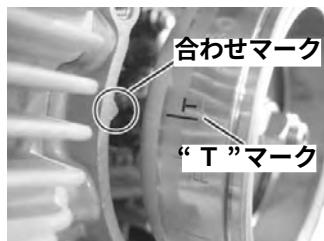
△注意：必ず規定トルクを守る事。

$T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$

(0.53 kg f · m)

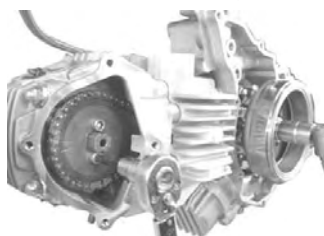
● **KSR110
KLX110**
オートデコンプ無カムシャフト取り付けの場合

- カムチェーンをカムスプロケットに取り付け、フライホイールの“T”マークがクランクケース合わせマークと合わせた時、カムスプロケットの“T”マークがシリンダーヘッドの合わせマークに合う様、調整します。



- カムスプロケットをスクリー2本でカムシャフトに取り付け、規定トルクで締め付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。

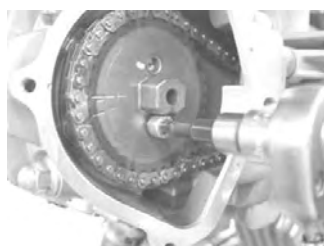
$T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
(1.2 kgf・m)



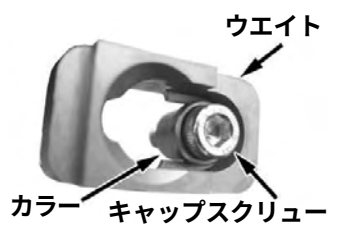
● **KSR110
KLX110**
オートデコンプカムシャフト取り付けの場合

- キャップスクリュー6×12をカムスプロケットのEX側に取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
(1.2 kgf・m)

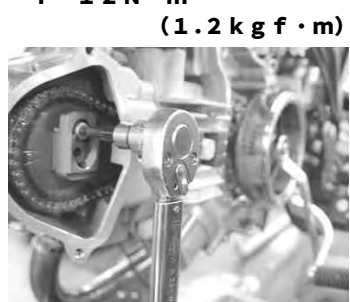


- キャップスクリュー6×20をカラーに通し、ウエイトに入れます。



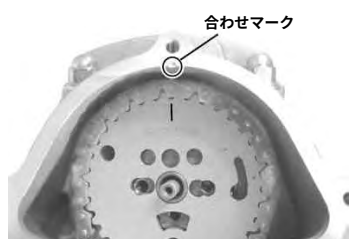
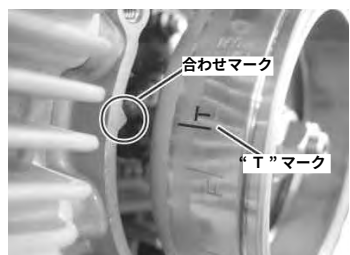
- カムスプロケットのIN側にキャップスクリュー6×20を用いてウエイトを取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
(1.2 kgf・m)



● **KLX110L**
オートデコンプカムシャフト取り付けの場合

- カムシャフトキット付属のカムスプロケットに、カムチェーンを取り付け（ノーマルのカムスプロケットは使用不可）フライホイールの“T”マークがクランク合わせマークに合う様、調整します。

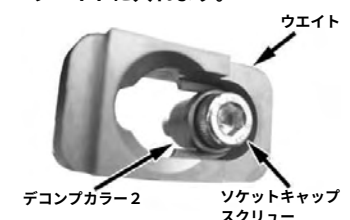


- デコンプガイドをネジ取り付け部の板厚が厚い方を上（IN側）に、薄い方を下（EX側）にし、キャップスクリュー6×12を下（EX側）に取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
キャップスクリュー6×12
 $T = 8 \text{ N} \cdot \text{m}$ (0.8 kgf・m)
※デコンプガイドは取り付け方向を必ず守って下さい。

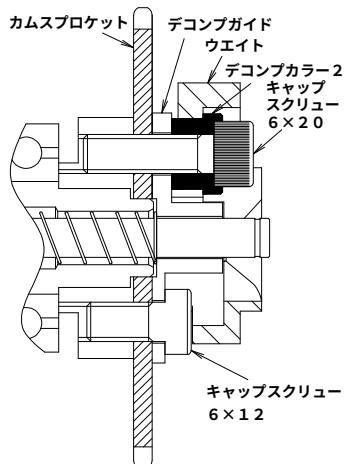


- ソケットキャップスクリュー6×20をデコンプカラー2に通し、ウエイトに入れます。

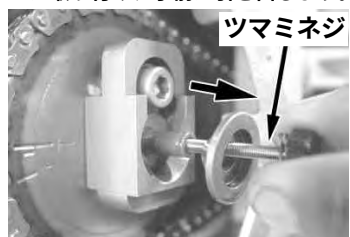


- デコンプガイド、ウエイト、デコンプカラー2の順に取り付け図を参考に規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
キャップスクリュー6×20
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
(1.2 kgf・m)



- カムシャフトキット内のツミネジ3×28にスナッピング6mm、プレートを通して、カムシャフトCOMP.内のシャフトの先端に取り付け、手前に引き出します。



- シャフトの溝部にスナッピングを取り付けます。

△注意：スナッピングは必要以上に広げない事。

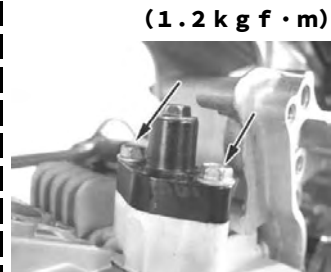
△警告：スナッピングは必ず新品を使用し、くれぐれも再使用しない事。



- カムシャフトチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認します。

- カムシャフトチェーンテンショナーをスクリー2本を用いて取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m}$
(1.2 kgf・m)

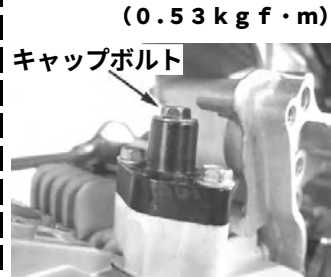


- カムシャフトチェーンテンショナーのキャップボルトを取り外し、カムシャフトチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除します。



- カムシャフトチェーンテンショナーのキャップボルトを取り付け規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.53 kgf・m)



- フライホイールの“T”マークと、カムスプロケットの“T”マークが合っているか確認します。

- アジャストスクリューでバルブクリアランスを調整します。
IN : 0.05 ~ 0.08 (冷間時)
EX : 0.05 ~ 0.08 (冷間時)



●オートデコンプカムシャフト取り付けの場合

- ※ EXはデコンプ装置が働かないようカムシャフトCOMP.内のシャフトを手前に引いた状態で調整して下さい。

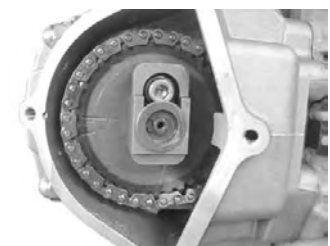


- アジャストナットを規定トルクまで締め付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8.8 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.9 kgf · m)



●オートデコンプカムシャフト取り付けの場合

- ツマミネジを外します。



- クランクシャフトを反時計回り方向に2回転まわし、バルブクリアランスが変化しないかを確認します。
変化する場合は、調整作業を合うまで繰り返します。

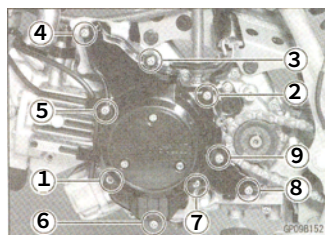
- カムシャフトスプロケットカバーOリングに少量のエンジンオイルを塗布し、スクリュー4本を用いて、シリンダーヘッドに取り付け規定トルクまで締め付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.53 kgf · m)



- インスペクションキャップOリングに少量のエンジンオイルを塗布し、インスペクションキャップをスクリュー2本を用いて取り付け、規定トルクまで締め付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.53 kgf · m)



- ジェネレーターカバーとクランクケースの合わせ面を脱脂し、ロックピン2個と新品のガスケットを取り付けます。
- ジェネレーターカバーをボルト9本で取り付け、それぞれ番号順に数回に分けて規定トルクまで締め付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.53 kgf · m)

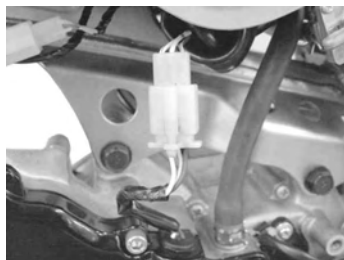


- サービスマニュアルを参照し、エンジンをフレームに取り付けます。
△注意：必ずマニュアルの指示を守る事。
- 使用するキャブレターキットの取説に従いキャブレターを取り付けます。

- クランクケースブリーザーホースを接続します。



- ジェネレーターカバーからのコネクターを接続します。



- ドライブスプロケット、ドライブチェーンを取り付けます。



- シフトペダルを取り付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.53 kgf · m)



- エンジンオイルを規定量まで入れます。



- スプロケットカバーを取り付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m}$
(0.53 kgf · m)



- 使用するエキゾーストマフラーの取り付け要領に従い、エキゾーストマフラーを取り付けます。

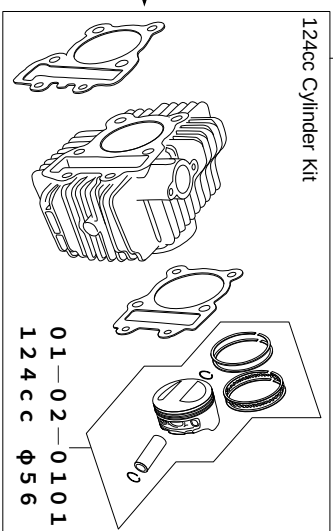
☆エンジン始動☆

- イグニッションキー、ガスコックがOFFになっていることを確認します。
- しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを行きわたらせます。
- スパークプラグを取り付けます。
プラグのネジ部に少量のアルミスペシャルを塗布し、締め付けます。
△注意：必ず規定トルクを守る事。
- プラグキャップをスパークプラグに取り付けます。
- エンジンに付着した汚れをよく拭き取ります。
- ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。
△警告：必ず換気のよい場所で行うこと。
- 異音など異常が無いかを確認します。
- 異常が無ければ30 kmから50 km程度慣らし運転をし、再度バルブクリアランスを点検します。
△注意：必ず冷間時に行うこと。
- 100 kmから150 km位まで再度慣らし運転を行います。
- 慣らし運転終了後、異音やブローバイガスなど異常が無いかを確認します。
(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)
- △警告：再使用出来ないパーツは再使用しないこと。

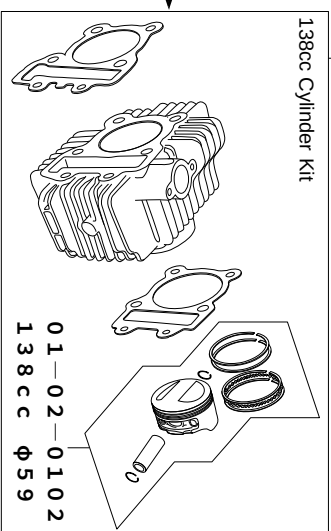
Super head+R

KLX110Lボアアップ参照表 (124cc、138cc、178cc) KLX110L Reference data on bore-up kit (124cc,138cc,178cc)

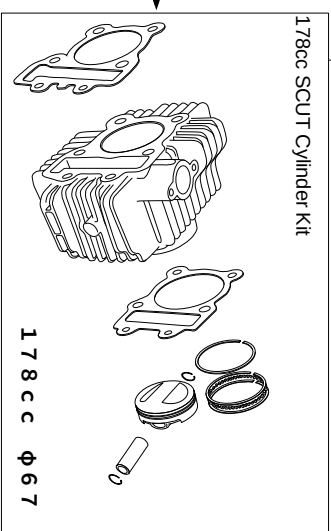
01-04-0104



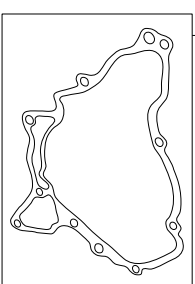
01-04-0105



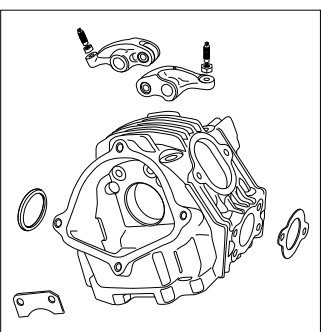
01-04-0114



00-01-0058

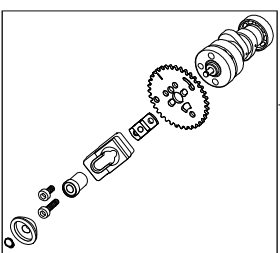


01-03-0115



カムを選択
Select a cam

シリンダー選択
Select a cylinder



S-15D camshaft	01-08-0132
S-20D camshaft	01-08-0133
S-25D camshaft	01-08-0134
S-35D camshaft	01-08-0135

☆ 01-03-0115 シリンダーヘッドキットのみで購入された場合、この参照表にて専用パーツを検討して下さい。

If you have purchased a cylinder head kit only (Item No. 01-03-0115), please study to install these special parts referring to this reference data.



Super head+R | デコンプカムシャフト 取扱説明書

KSR110 SUPER HEAD + R ONLY

01-08-0119 (S-15D) 01-08-0121 (S-25D)
01-08-0120 (S-20D) 01-08-0122 (S-35D)

この度は、当社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

このカムシャフトは、スーパーヘッドのパワーを最大限に引き出すための専用カムシャフトに、オートデコンプ装置を追加したものです。

デコンプ装置により、容易にエンジン始動が行えます。

ご使用につきましては、説明書をよくお読みになって、指示を必ず守りご理解した上でご使用下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

注意 この表示内容が無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を使用して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・タコメーターを必ず使用し、指定回転数以下でご使用下さい。
(オーバーレブは、エンジンに悪影響を与えるだけでなくエンジン破損の原因となります。)
- ・点検、整備は、定期的に行ってください。(点検、整備を怠るとエンジン破損の原因につながります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品があれば、必ず損傷部品の交換をして下さい。
(損傷部品の使用を続けると、エンジン破損の原因につながります。)

警告 この表示内容が無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

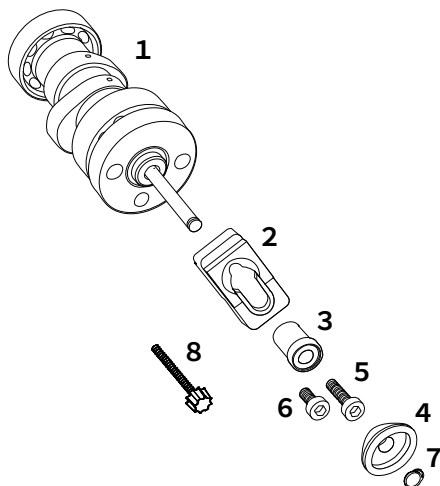
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。
(そのまま、走行すると事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを運転する場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では行わないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、エンジンを安定させ、安全に作業を行ってください。
(不安定な状態での作業は、エンジン等が倒れてケガをする恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。



番号	部 品 名	個数	リペア品番	入数
1	カムシャフトCOMP.	1	S-15D 14100-KL4-T10	1
			S-20D 14100-KL4-T20	1
			S-25D 14100-KL4-T30	1
			S-35D 14100-KL4-T60	1
2	ウエイト	1	14103-KL3-T00	1
3	カラー	1	14106-KL3-T00	1
4	プレート	1	14104-KL3-T00	1
5	キャップスクリュー 6×20	1	00-00-0043	10
6	キャップスクリュー 6×12	1	00-00-0116	6
7	スナプリング 6mm	5	00-01-0255	5
8	ツマミネジ 3×28	1	00-01-0254	2

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。あらかじめご了承下さい。
尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませう様お願い致します。

01-08-0119 S-15D	01-08-0121 S-25D
●バルブ作用角度 (1mmリフト時)	●バルブ作用角度 (1mmリフト時)
IN 230°	IN 250°
EX 230°	EX 250°
01-08-0120 S-20D	01-08-122 S-35D
●バルブ作用角度 (1mmリフト時)	●バルブ作用角度 (1mmリフト時)
IN 240°	IN 270°
EX 240°	EX 270°

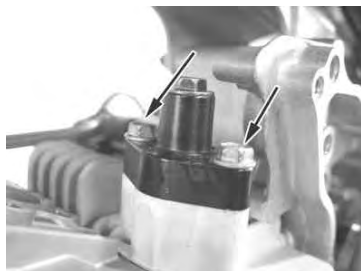
ご使用用途に応じて適切なカムシャフトをお選び下さい。

使用時の注意点

- 取り付けは必ずスーパーヘッド+Rの取扱説明書の取り付け要領を参照し、作業を行なって下さい。
- 知識、技術の無い方は、作業を行わないで下さい。
- スーパーヘッド+Rのオーナーズマニュアルを参照し、定期的に点検して下さい。

[取り外し]

- シリンダーのカムチェーンテンショナーを取り外します。



- カムスプロケットを取り外します。
- シリンダーヘッドのカムストッパープレートを取り付けている2本のスクリューを外し、カムストッパープレートを取り外します。

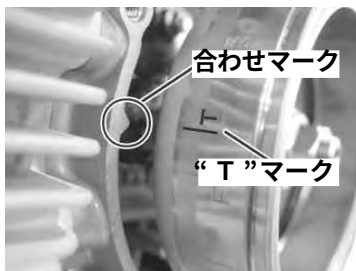


- インテーク側のロッカーアームシャフトを引き抜き、ロッカーアームをタペットホール側に少しずらし、カムシャフトを取り外します。
(∴カムシャフトのベアリング部とロッカーアームのベアリング部が干渉する為、ロッカーアームの位置を少しずらし、カムシャフトを取り外す必要があります。)



[取り付け]

- フライホイールの“T”マークをクランクケースの合わせマークに合わせ、ピストンを上死点に合わせます。

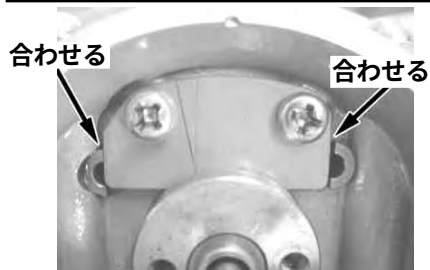


- インテーク側のロッカーアームシャフトを一旦引き抜きインテーク側に取り付けしたロッカーアームをタペットホール側にずらしておき、専用のカムシャフトをシリンダーヘッドに取り付け、再度インテーク側のロッカーアームとロッカーアームシャフトを取り付けます。
(∴カムシャフトのベアリング部とロッカーアームのベアリング部が干渉する為、ロッカーアームの位置を少しずらし、カムシャフトを取り付ける必要があります。)

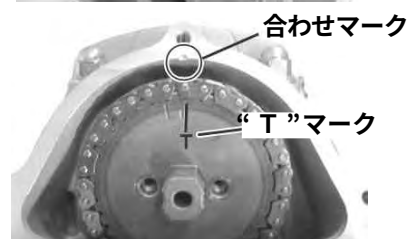
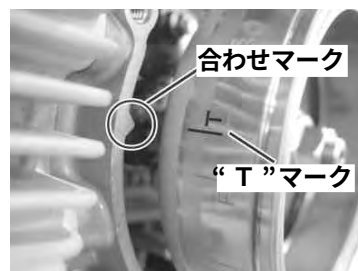


- スーパーヘッドにキット内のカムストッパープレートを、オリジナルのシリンダーヘッドから取り外したパンスクリュー2本を用いて取り付けます。この時、カムストッパーの両端とロッカーアームシャフトの切り欠き部を合わせて取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8 \text{ N} \cdot \text{m} (0.8 \text{ kgf} \cdot \text{m})$

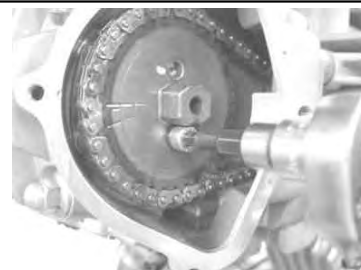


- カムチェーンをカムスプロケットに取り付け、フライホイールの“T”マークがクランクケース合わせマークと合わせた時、カムスプロケットの“T”マークがシリンダーヘッドの合わせマークに合う様、調整します。



- キャップスクリュー6×12をカムスプロケットのE X側に取り付け、規定トルクで締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kgf} \cdot \text{m})$



- キャップスクリュー6×20をカラーに通し、ウエイトに入れます。

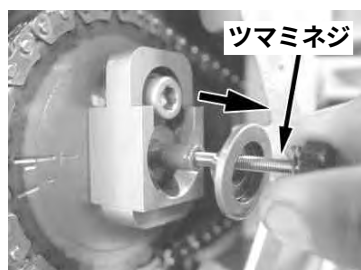


- カムスプロケットの上の穴にキャップスクリュー6×20を通し、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



- キット内のツマミネジ3×28にスナッピング6mm、プレートを通して、カムシャフトCOMP.内のシャフトの先端に取り付け、手前に引き出します。



- シャフトの溝部にスナッピングを取り付けます。

△注意：スナッピングは必要以上に広げない事。
△警告：スナッピングは必ず新品を使用し、くれぐれも再使用しない事。



- カムシャフトチェーンテンショナーのプッシュロッドがロックしているか確認します。

- カムシャフトチェーンテンショナーをスクリュー2本を用いて取り付け、規定トルクで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 12 \text{ N} \cdot \text{m} (1.2 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

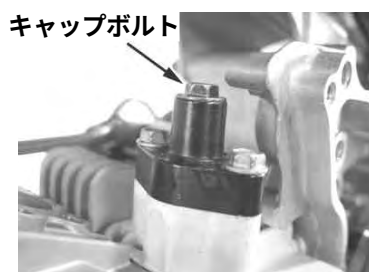


- カムシャフトチェーンテンショナーのキャップボルトを取り外し、カムシャフトチェーンテンショナーのストッパーを反時計方向に少し回し、プッシュロッドのロックを解除します。



- カムシャフトチェーンテンショナーのキャップボルトを取り付け規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 5.2 \text{ N} \cdot \text{m} (0.53 \text{ kg f} \cdot \text{m})$

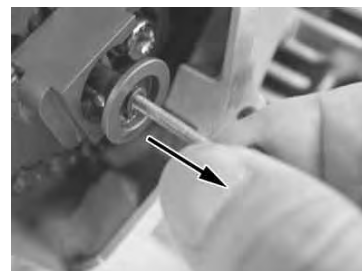


- フライホイールの“T”マークと、カムスプロケットの“T”マークが合っているか確認します。

- アジャストスクリューでバルブクリアランスを調整します。

IN：0.05～0.08（冷間時）
EX：0.05～0.08（冷間時）

※注意：EXはデコンプ装置が働かないようカムシャフトCOMP.内のシャフトを手前に引いた状態で調整して下さい。



- アジャストナットを規定トルクまで締め付けます。

△注意：必ず規定トルクを守る事。
 $T = 8.8 \text{ N} \cdot \text{m} (0.9 \text{ kg f} \cdot \text{m})$



- ツマミネジを外します。



- シリンダーヘッドの取り付け要領を参照して作業を行います。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
TEL 0721-25-1357
FAX 0721-24-5059
お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
URL <http://www.takegawa.co.jp>



Super head+R / CYLINDER SET 取扱説明書

当社製スーパーヘッド+R専用

商品番号：01-04-0104 (124cc)
01-04-0105 (138cc)

- ・この度は、TAKEGAWA製品をお買い上げ頂き有り難うございます。
- ・この製品は、当社製スーパーヘッド+Rヘッド専用のピストン、シリンダーのセットです。使用の際は、下記事項を遵守頂きます様、お願い申し上げます。
- ・シリンダーには、アルミ一体铸造スリーブにセラミックコンポジットメッキを施し、従来の鋳鉄スリーブより耐久性／耐磨耗性を向上させ、ピストンクリアランスを少なくし、フリクションロスを低減させました。ピストンも軽量設計し、スカート部分にはモリブデンコーティングを施し、馴染性をアップさせています。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！音鳴りについてのご注意！

この製品を取り付けると、シリンダーの冷却フィンの共振による音鳴りが発生する場合があります。この場合は冷却フィンにキット内のダンパーを組み付けて対処して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により、事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この商品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合は、一切保証の対象にはなりません。
- ◎この製品は、当社製スーパーヘッド+Rヘッド専用です。
- ◎この製品のシリンダーは、ノーマルクランクケースの個体差により、干渉する場合があります。干渉する場合はクランクケースの修正加工を行なう必要があります。ご注意下さい。
- ◎STDケースを加工する際には、エンジン脱着、クランクケース分割などの作業が必要になります。純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に行って下さい。又、組み付けには、ガスケットなどが必要となりますので、別途お買い求め下さい。
- ◎レース等でご使用の場合は、いかなる場合もクレームは一切お受け出来ません。ご了承下さい。



注意

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・このパーツはクローズド競技用として開発した商品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、道路運送車両法の保安基準を充たし、違法運転を心掛けて下さい。
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ・作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、十分注意して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)



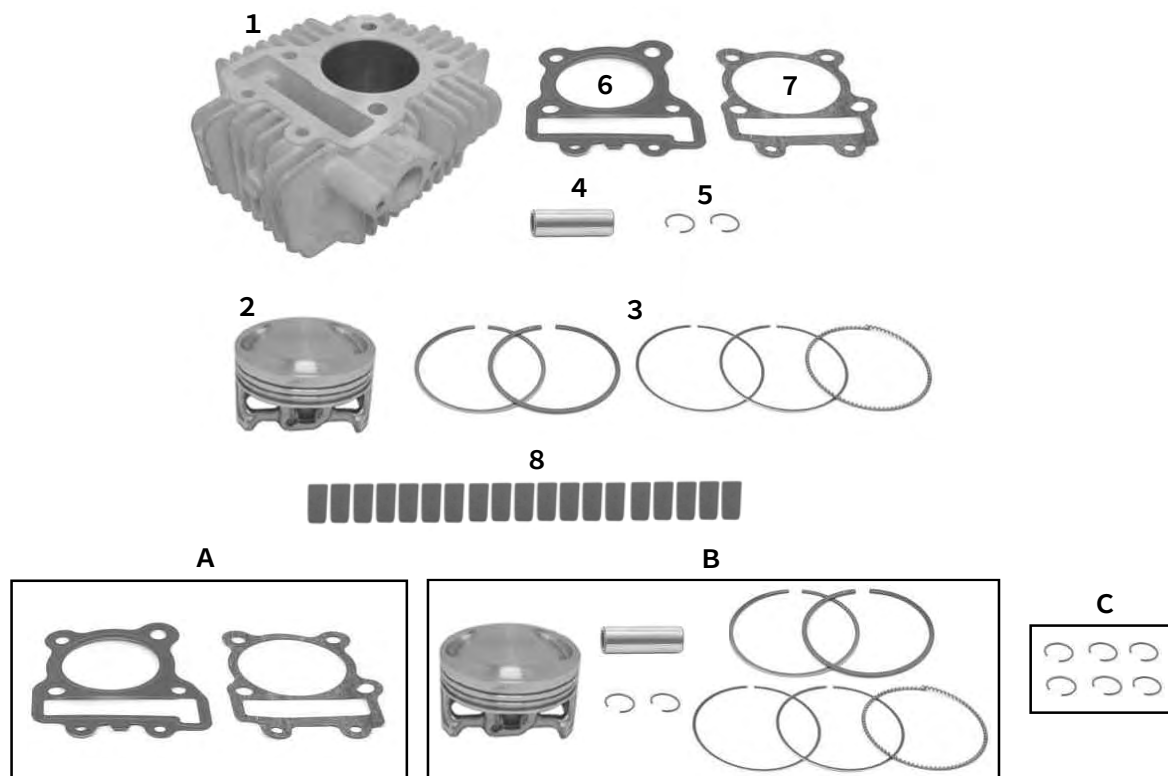
警告

この表示の内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・技術、知識のない方は、作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・ピストンピンサークリップ、ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。
(部品の摩耗や損傷で、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- ・点検、整備を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)
- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- ・ガソリンは非常に引火しやすい為、一切の火気を避け、燃えやすい物が回りに無い事を確認して下さい。(火災の原因になることがあります。)
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- ・指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルトおよびナットの破損、脱落等で事故につながる恐れがあります。)
- ・気化したガソリンの滞留は、危険性が有る為通気の良い場所で作業を行ってください。(爆発につながる恐れがあります。)
- ・燃料は必ず、ハイオクタン価ガソリンを使用して下さい。(ノッキング等のトラブルで事故につながる恐れがあります。)

- ◎性能、デザイン、価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び、加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として修理又は交換させて頂きますが、工賃その他費用は対象となりません。
- ◎指示している部品以外との組み合わせによるトラブルの保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。

～商 品 内 容～



番号	部 品 名	個数
1	アルミシリンダー	1
2	ピストン	1
3	ピストンリングセット (TOP,2ND,OIL)	1
4	ピストンピン	1
5	ピストンピンサークリップ	2
6	シリンダーヘッドガスケット	1
7	シリンダーガスケット	1
8	シリンダーダンパー B	19

番号	リペア品番	部 品 名
A	56 01-13-0102	ガスケットキットB
	59 01-13-0103	
B	124 01-02-0101	ピストンキット
	138 01-02-0102	
C	000-02-120	ピストンピンサークリップセット (6個入り)
1	56 01-01-0101	アルミシリンダー
	59 01-01-0102	
2	56 13108-KSH-T00 (124cc用)	ピストン
	59 13110-KSH-T00 (138cc用)	
3	56 01-15-020	ピストンリングキット
	59 01-15-023	
4	000-02-102	ピストンピン
8	000-03-048	シリンダーダンパーB (10個入り)

∴補修パーツ注文時はリペア品番にてご注文下さい。

又、単品出荷出来ない部品もございますので、その場合セット品にてご注文下さい。

株式会社 SPECIAL PARTS 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号
 TEL 0721-25-1357 FAX 0721-24-5059
 お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857
 URL <http://www.takegawa.co.jp>

～取 り 付 け 要 領～

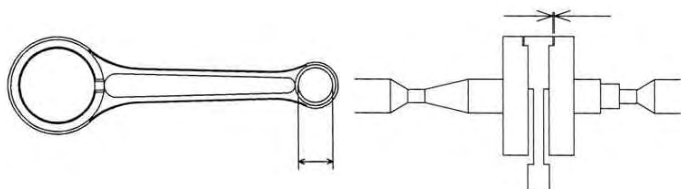
⚠ **注意：**トルクレンチを必ず用意し、確実に規定トルクを守り作業を行う事。

⚠ **警告：**技術、知識の無い方は、作業を行わない事。

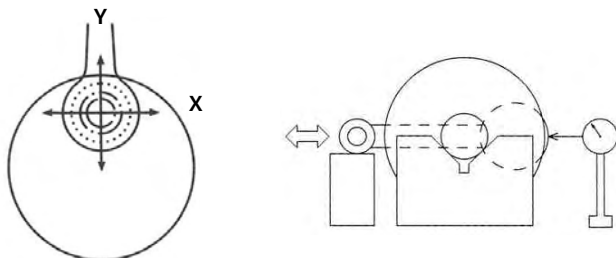
- エンジン脱着、クランクケース分割等の作業が必要となる場合があります。純正サービスマニュアルを必ず参照し、確実に作業を行なって下さい。
 - サービスマニュアルに従い、エンジンをフレームから取り外し、エンジンを分解します。
 - クランクケースの個体差でシリンダスリーブと干渉してしまう場合がありますので、干渉する場合、クランクケースを修正します。
 - シリンダーをクランクケースにノックピンで一決めし取り付け、クランクケースとの干渉を確認します。
 - 干渉する場合、ケースの干渉位置を把握します。
 - サービスマニュアルを参照し、クランクケースを分解し干渉部分をヤスリ、リューター等を用いて削ります。削りすぎない様少しづつ削って下さい。
 - 削り粉がベアリング等に入らない様、注意して削り、ケース干渉部の修正が終わったら、クランクケースを洗浄します。
 - クランクケースを分解した場合、各部をサービスマニュアルを参照し、点検を行います。
- ⚠ **注意：**各部の点検、消耗品の確認交換は確実に行う事。

クランクシャフトの点検

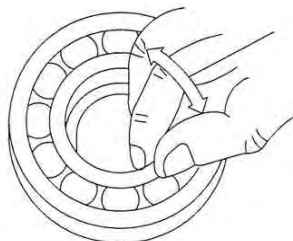
- ・ コンロッド小端部の内径を測定する。
 $\therefore 1.3.05\text{ mm}$ 以上交換
- ・ コンロッド大端部軸方向隙間を測定する。
 $\therefore 0.4\text{ mm}$ 以上交換



- ・ コンロッド大端部軸直角 2 方向のガタを測定する。
 $\therefore 0.07\text{ mm}$ 以上交換

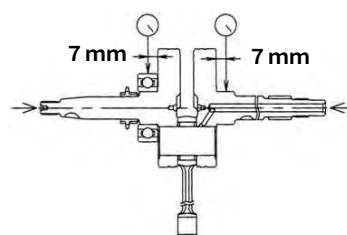


- ・ クランクシャフトのジャーナルベアリングのガタを測定する。
 $\therefore$ 軸方向： 0.10 mm 以上交換
 軸受け方向： 0.05 mm 以上交換



- ・ クランクシャフトの振れを測定する。

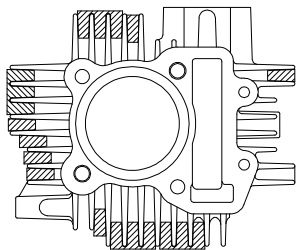
$\therefore 0.08\text{ mm}$ 以上交換



- サービスマニュアルに従いクランクケースを組み立てます。

～シリンダー取り付け要領～

- シリンダー冷却フィンの間に、キット内のシリンダーダンパーBを図の場所に奥までしっかり入る様取り付けます。
(シリンダー冷却フィン共振音低下の為取り付けます。)



- ピストンの片方にピストンピンサークリップを取り付けます。



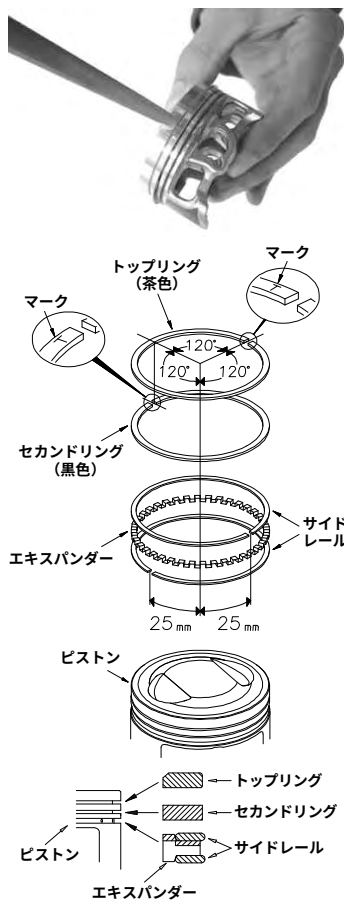
- ピストンピンサークリップの合い口は、ピストンピン穴の切り欠き部を避け、ピストンに対して上下方向に合わせます。



合い口

- ピストンリング部及び、ピストンピン部をエアブローし、異物の噛み込みが無い事を確認します。

- ピストンリング溝にオイルを塗布し、図を参考にしてピストンリングを取り付け、合い口を合わせます。



- ピストンピン及び、コネクティングロッド小端部穴にモリブデン溶液を塗布します。



- ピストンの←マークがある方をエキゾーストに向け、コネクティングロッドにピストンを取り付けます。



- クランクケースのスリーブホール部、カムチェーンホール部にきれいなウエスを詰め込み、ピストンピンサークリップを取り付けます。



- 詰めていたウエスを取り外します。

- クランクケースのシリンダーベース面をきれいに脱脂し、ノックピン穴に、ノックピンを取り付けます。



- クランクケースのシリンダーベース面にキット内の部品のシリンダーガスケットを取り付けます。



- アルミシリンダーのボア内全周にオイルを塗布します。



- アルミシリンダーをスタートボルトに差し込み、ピストンリングの合い口がずれない様、ピストンリングを圧縮しながらシリンダーを取り付けます。

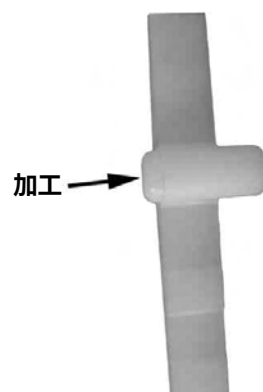
⚠注意：ピストンリングを損傷しない様、注意する事。



- カムチェーンガイドをシリンダーに取り付けます。



※シリンダーにチェーンガイドを取り付ける際、個体差でチェーンガイドが溝の奥まで入りきらない場合があります。写真を参考にチェーンガイドの横方向にガタが出るまで加工し、溝の奥まで入っている事を確認して下さい。



加工

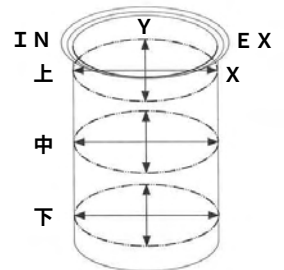
- シリンダーヘッドを取扱説明書に従い取り付けます。

シリンダー、ピストン整備諸元表

項目			標準	使用限度	備考
シリンダー	歪み 内径	φ 5 6	5 6.0 0 0～5 6.0 1 5mm	0.0 5mm	交換
		φ 5 9	5 9.0 0 0～5 9.0 1 5mm	5 6.0 5mm	交換
				5 9.0 5mm	交換
ピストン	外径（スカート下端より7.5 mm） （スカート下端より7.5 mm） ピン穴内径	φ 5 6	5 5.9 6 5～5 5.9 8 5mm	5 5.9 5mm	交換
		φ 5 9	5 8.9 6 5～5 8.9 8 5mm	5 8.9 5mm	交換
			1 3.0 0 2～1 3.0 0 8mm	1 3.0 3mm	交換
ピストンピン外径			1 2.9 9 4～1 3.0 0 0mm	1 2.9 8mm	交換
ピストンリング合口隙間		T O P	0.1 5～0.3 8mm	0.5 0mm	交換
		2 N D	0.2 0～0.4 5mm	0.5 0mm	交換
		O I L	0.2 0～0.7 0mm	0.9 0mm	交換
シリンダーとピストンの隙間				0.1 2mm	交換
ピストンとピンの隙間			0.0 0 2～0.0 1 4mm	0.0 5mm	交換

○シリンダーの点検

- ・シリンダーの内面の摩耗、損傷を点検する。
- ・ピストンピン方向とその直角軸方向 (X-Y 方向) に、上、中、下段の 6 ヶ所でシリンダー内径を測定し、記録する。
最大測定値を内径値とする。
∴ φ 5 6 - 5 6.0 5 mm 以上交換 φ 5 9 - 5 9.0 5 mm 以上交換
シリンダーとピストンの隙間を計算して求める。



○ピストンの点検

- ・ピストンからカーボンの汚れを取り除く。
- ・ピストンにピストンリングを取り付け、ピストンリングをリング溝に押し込んだ状態で、ピストンリングと、リング溝のクリアランスをシックスネゲージで測定する。
∴ 0.1 7 mm 以上交換
- ・ピストンの外傷を点検する。
- ・ピストン穴に対し、直角の方向でピストンスカート下端から指定の位置でピストンの外径を測定する。
∴ φ 5 6 - 5 5.9 5 mm 以下交換 φ 5 9 - 5 8.9 5 mm 以下交換
- ・ピストンピン穴の内径を測定する。
∴ 1 3.0 3 mm 以上交換
- ・ピストンとピストンピンの隙間を計算して求める。



○ピストンリングの点検

- ・ピストン頭部でピストンリングを下部に水平に取り付け、合い口のクリアランスをシックスネゲージで測定する。
∴ T O P、2 N D - 0.5 mm 以上交換 O I L - 0.9 mm 以上交換





ミニ VM26 キャブレターキット 取扱説明書

商品番号 : 03-05-3293 (キャブレターキット)
: 03-02-057 (マニホールドキット)
適応車種 : K L X 110 (Super Head + R 装着車専用)
フレーム番号 : L X 110 A - 000001 ~

- ・この度は、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
- ・取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎この製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎商品を加工等された場合や取り付けされた場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎この製品は上記適応車種、フレーム番号の車両専用用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎この製品の取り付けには上記適応車種に合ったカワサキ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行って下さい。
- ◎この製品を取り付け使用すると水分等を吸い込み易くなるので雨天等の走行はしないで下さい。エンジン内部に水分が入り、エンジン不調の原因となります。又、洗浄時等はキャブレターに水が掛からないようビニール等で覆って下さい。
- ◎キャブレターは、天候・気温・自然現象および車体差、キャブレターの個体差等によりセッティングを変更する必要があります。個々のエンジン、条件に合ったセッティングを行って下さい。なお、キャブレターは別紙の状態でご出荷しております。

⚠ 注意

下記内容を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- ・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。（火傷の原因となります。）
- ・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
- ・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
- ・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。（ケガの原因となります。）
- ・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。（部品の脱落の原因となります。）
- ・ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。

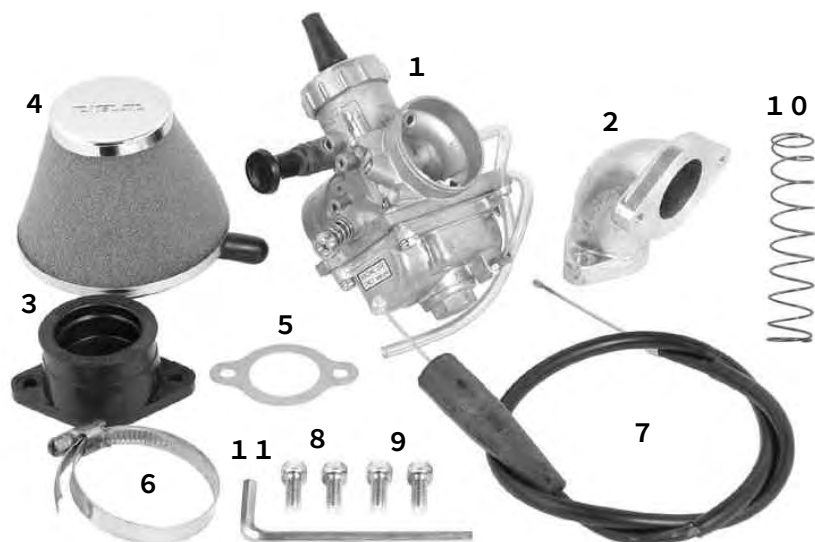
⚠ 警告

下記内容を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ・エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
- ・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
- ・作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
- ・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
- ・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）
- ・ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象なりません。
- ◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

～商 品 内 容～



キャブレター出荷時状態

メインジェット	# 1 9 0
パイロットジェット	# 2 2 . 5
ジェットニードル	5 E 7 5
クリップポジション	3 段目
スロットルバルブ	# 1.5
エアスクリーューオープニング	1 回 転 ± 1 / 4

番号	部 品 名	個数	リペア品番	入 数
1	キャブレターASSY.	1	03-03-0321	1
※ 2	インレットパイプ	1	17112-KL1-T00	1
※ 3	インシュレーター	1	16212-165-T00	1
4	エアフィルター	1	03-01-1064	1
※ 5	インレットパイプガスケット	1	00-03-0007	2
※ 6	ノールマトローバンド	2	00-00-0038	1
7	スロットルケーブルCOMP.	1	17910-LX1-T12	1
※ 8	ソケットキャップスクリュー M6×15	2	00-00-0042	10
※ 9	ソケットキャップスクリュー M6×20	2	00-00-0043	10
10	スロットルバルブスプリング	1	16022-MVM-T10	1
※ 11	6角レンチ 5mm	1		

※印はマニホールドキットの商品内容を示しています。

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合があります。あらかじめご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませお願い致します。

～取 り 付 け 要 領～

◇水平で安全な場所で車両を安定させる。

◇フューエルコックを閉じ、キャブレターのドレンコックを開いてフロート室内からガソリンを抜き取る。

1. 外装を外す

◇サービスマニュアルに従い左右のシュラウドを取り外します。

2. キャブレターを外す

◇ノーマルキャブレターからトップキャップを外す。チョークケーブル、フューエルホースの接続を外し、エアクリーナーダクトのクランプスクリューを緩める。ボルト2本を取り外し、マニホールド／キャブレターを取り外す。

◇チョークレバーブラケットをフレームから取り外す。

◇エアクリーナーダクトをエアクリーナーボックスから取り外す。

エアクリーナーボックス



エアクリーナーダクト

3. ノーマルスロットルケーブルを外す

◇スクリュー2本を取り外し、スロットルハウジングのカバーを取り外す。

◇インナーケーブルの接続を外し、スロットルケーブルのアジャスターを回して、スロットルハウジングから取り外す。

4. スロットルケーブルを付ける

◇キット内のスロットルケーブルをスロットルハウジングに、アジャスターを回して取り付け、インナーケーブルをスロットルリールに接続する。

◇スロットルハウジングのカバーをスクリュー2本で取り付ける。

5. キャブレターを付ける

◇イグニッションコイルを取り外し、チョークレバーブラケット取り付け部に取り付け直す。

規定トルク：4.9 N・m (0.5 kgf・m)



◇シリンダーヘッドの丸印のボルト穴にインレットパイプを組み付けます。



◇シリンダーヘッドとインレットパイプの間にガスケットを挟み、ソケットキャップスクリューM6×20で取り付けます。

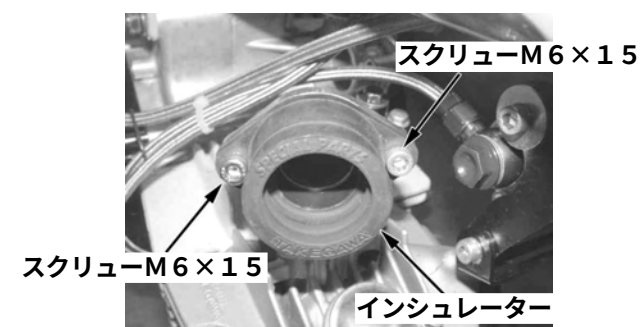
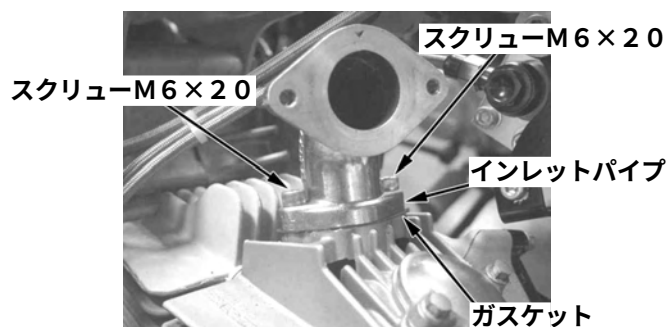
注意：規定トルクを必ず守って下さい。

$T=10\text{ N}\cdot\text{m}$ (1.0 kgf·m)

インシュレーターをインレットパイプにソケットキャップスクリューM6×15で取り付けます。

注意：規定トルクを必ず守って下さい。

$T=10\text{ N}\cdot\text{m}$ (1.0 kgf·m)



◇キャブレターをインシュレーターに差し込み、バンドを締め付けて固定する。

◇キャブレターのトップキャップを外し、スプリング、ニードルクリップリテーナー、スロットルバルブを抜き取る。

◇スロットルケーブルにトップキャップ、スプリング、スロットルバルブを取り付け、ニードルクリップリテーナーを取り付ける。

※必ず付属のスロットルスプリングに交換して下さい。

◇スロットルバルブの切り欠き部をスロットルストップスクリューに合わせてキャブレターに取り付ける。

◇スロットルグリップ部で5mm程度の遊びが出来るようにスロットルケーブルのアジャスターを調整する。スロットルを数回スナップさせ、スロットルバルブの開閉状態を確認する。

◇クランクケースからのブローパイガスの処理は各自で行う。

◇取り外した外装をサービスマニュアルに従い元の状態に戻します。

株式会社 **SPECIAL PARTS** 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東三丁目5番16号

TEL 0721-25-1357

FAX 0721-24-5059

お問い合わせ専用ダイヤル 0721-25-8857

URL <http://www.takegawa.co.jp>

警告

本製品付属のMIKUNI VM26キャブレターについて、出荷時VM26キャブレターにはオンロード用標準スロットルバルブスプリングが組み込まれています。

スロットルワイヤー接続の際、付属のオフロード用強化スロットルバルブスプリングに必ず組み替えて下さい。

強化スロットルバルブスプリングは、スロットルやスロットルワイヤー、スロットルバルブ等への泥や砂の付着によるスロットルの閉鎖不良を緩和する為の部品です。

ただし、汚れによりスロットルの戻りが悪くなる事を完全に防ぐ事は出来ませんので必ず走行前に各部を点検し、走行中に異変を感じたらすぐに停車して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

警告

本製品付属のMIKUNI VM26キャブレターについて、出荷時VM26キャブレターにはオンロード用標準スロットルバルブスプリングが組み込まれています。

スロットルワイヤー接続の際、付属のオフロード用強化スロットルバルブスプリングに必ず組み替えて下さい。

強化スロットルバルブスプリングは、スロットルやスロットルワイヤー、スロットルバルブ等への泥や砂の付着によるスロットルの閉鎖不良を緩和する為の部品です。

ただし、汚れによりスロットルの戻りが悪くなる事を完全に防ぐ事は出来ませんので必ず走行前に各部を点検し、走行中に異変を感じたらすぐに停車して下さい。

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

本製品付属のMIKUNI VM26キャブレターについて、出荷時VM26キャブレターにはオンロード用標準スロットルバルブスプリングが組み込まれています。

スロットルワイヤー接続の際、付属のオフロード用強化スロットルバルブスプリングに必ず組み替えて下さい。

強化スロットルバルブスプリングは、スロットルやスロットルワイヤー、スロットルバルブ等への泥や砂の付着によるスロットルの閉鎖不良を緩和する為の部品です。

ただし、汚れによりスロットルの戻りが悪くなる事を完全に防ぐ事は出来ませんので必ず走行前に各部を点検し、走行中に異変を感じたらすぐに停車して下さい。

警告

SPECIAL PARTS TAKEGAWA

本製品付属のMIKUNI VM26キャブレターについて、出荷時VM26キャブレターにはオンロード用標準スロットルバルブスプリングが組み込まれています。

スロットルワイヤー接続の際、付属のオフロード用強化スロットルバルブスプリングに必ず組み替えて下さい。

強化スロットルバルブスプリングは、スロットルやスロットルワイヤー、スロットルバルブ等への泥や砂の付着によるスロットルの閉鎖不良を緩和する為の部品です。

ただし、汚れによりスロットルの戻りが悪くなる事を完全に防ぐ事は出来ませんので必ず走行前に各部を点検し、走行中に異変を感じたらすぐに停車して下さい。

警告

キャブレターセッティング要領

- ・キャブレターがエンジンに適合していない時のエンジンに現れる不調の原因は、混合気が濃すぎるか薄すぎるかの2つの原因に絞られます。
- ・エンジンに現れる不調の現象は次の通りです。

混合気が濃すぎる時	混合気が薄すぎる時
・爆発音が重い感じで断続する。 ・チョークを作動すると、より調子が悪くなる。 ・エンジンが暖機すると調子が悪くなる。 ・クリーナーを外すと調子が良くなる。 ・排気ガスが濃い。(黒い) ・プラグが黒くくすぶる。	・エンジンがオーバーヒート気味になる。 ・チョークを作動すると、調子が良くなる。 ・加速が悪い。(息付きをおこす) ・回転変動があり、力がない。 ・プラグが白く焼ける。

※キャブレターのセッティングは暖機後に行い、走行確認を行って下さい。又、プラグは適正な熱価の物をご使用下さい。

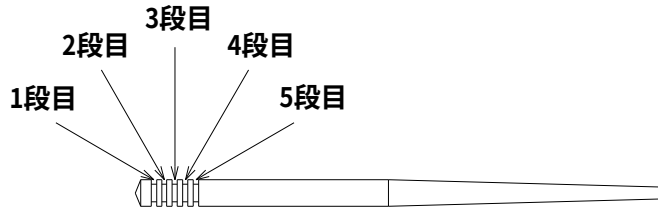
※エンジン回転後、スロットル開度等により、どの範囲でエンジンが不調になるかを考慮し、下記の要領でセッティングして下さい。

○ジェットニードル (スロットル開度1/4-3/4)

加速時、スロットルに回転がついて来るか、来ないか

- ・息付きをする場合、濃くして下さい。
- ・回転の上がりが高く、排気ガスが黒い場合は薄くして下さい。

この開度での混合比は、Eリングを入れる溝の段数で調整出来ます。Eリング位置が1段目から5段目へ下がるにつれ混合気は濃くなります。



○メインジェット (スロットル開度3/4-4/4)

この開度での混合比は、ジェットの番数を変えることにより調整出来ます。番数を上げると混合気が濃くなります。仕様等を考慮の上、最高回転数(最高速度)の得られる物を選んで下さい。

○パイロットジェット (調整前にまずエアスクリュウを調整して下さい。)

- ・エアスクリュウの戻し量3.0回転以上の場合、パイロットジェットを小さくして下さい。
- ・エアスクリュウが全閉になる場合は、パイロットジェットを大きくして下さい。
- ・パイロットジェットはアイドルリングから低速運転時に、エンジン回転数がスムーズに立ち上がるか否かを確認します。
- ・回転上昇に谷が出来る場合、パイロットジェットが小さ過ぎます。(アイドル回転時)
- ・排気濃く排気音が重い場合、パイロットジェットが大き過ぎます。(アイドル回転時)
- ・パイロットジェット交換時には、エアスクリュウの再調整が必要です。

○エアスクリュウ

エアスクリュウはスロー系の空気流量を調整します。(アイドルリング時)

- ・エアスクリュウを右に回す→混合気が濃くなる。
- ・エアスクリュウを左に回す→混合気が薄くなる。

標準戻し回転数(1.5回転)に合わせ、左右に1/4-1/2回転ずつ回しエンジン回転数が最も高くなる位置に調整します。

アイドルストップスクリュウで安定したアイドル回転まで下げ、もう一度エアスクリュウで最も回転数が高くなる位置に調整します。

●気圧、気温、湿度によるセッティングへの影響

- ・高地等で気圧が下がると空気密度が下がり、キャブレターへ吸入される空気量が減少します。この為、低地で調整されたキャブレターは混合気が濃くなります。
- ・非常に気温の低い天候下では、空気密度が上がる為、キャブレターの混合気は薄くなります。
- ・雨天の場合は湿度が上がる為、空気密度が下がりキャブレターの混合気は濃くなります。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。

◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませお願い致します。